



ふるさとの**自然** (21)

寒くなると姿を見せるツグミ

今回は、代表的な冬鳥のツグミを紹介します。

○姿も鳴き声も地味な鳥

ツグミはムクドリより一回り大きな鳥で、全身が茶色っぽい地味な色をしています。市内でも、冬に田んぼや畑、芝生などの地面に降りて、餌を探す姿をよく見掛けます。ツグミの仲間には、コマドリなど良い声でさえずる種類が多いのですが、ツグミは飛び立つときなどに「クイックイッ」と鳴くだけです。そのため、口をつぐんで鳴かない鳥だということで「ツグミ」という名前が付いたそうです。

○冬鳥の代表

ツグミのように、冬に日本に渡ってくる鳥を「冬鳥」といいます。冬鳥は、餌になる虫が大発生するシベリアやカムチャッカ半島などで夏を過ごし、ひなを育てます。秋になると、暖かい日本に渡ってきて冬越しです。カモやハクチョウ、ツルなどの大形の水鳥がよく知られていますが、小鳥の仲間もたくさん渡ってきます。ツグミは冬にやって来る小鳥の中では、最も普通に見られる代表的な冬鳥です。

○別名「チョウマン」

ツグミは木の実や昆虫が主食です。枝に止まって木の実を食べたり、地面に降りてくちばしで土を掘ってミミズなどを探したりします。地面に降りたときに、立ち止まって胸を反らす姿勢をするのが特徴です。歩くときは両足をそろえて、小さく跳びます。ツグミには「チョウマン」とか「タッチョウマン」とかの別名がありますが、馬のように跳ぶということで「跳馬」と呼ばれているようです。

○悲しい歴史

秋に大群で渡ってくるツグミには、北陸地方でかすみ網を使って大量に密猟され、焼き鳥にされていた悲しい歴史がありました。今は捕ってはいけない保護鳥で、かすみ網も法律で使用や販売が禁止されています。(齊藤敏一)

編集こぼれ話

今回「何を書こうか?」と考えているうちに、締め切りを迎えてしまった。ちなみにこれを書いている11月22日は、語呂合わせで「いい夫婦の日」だとか。うちの夫婦、たまに言い争いになってしまうことがあります。この言い争い、新婚のころは大抵、母ちゃん(妻)の「ごめんなさい」で幕を閉じていた。それが今じゃ「ごめん!俺が悪かった」と私が閉じます。理不尽なことをした覚えはないが、いつのまにか母ちゃんが築いていた「王国」の前に劣勢だ……。果たして私の復権はあるのだろうか?(Y)

イキイキ

あさひっ子



たいが
泰芽ちゃん

平成22年8月19日生

両親=渡邊幸生さん

登志子さん(横根)

「いつも元気いっぱいな
たいちゃん! パパとマ
マの宝物だよ」

たけし
勇志ちゃん

平成17年5月18日生

両親=鈴木利雄さん

亮子さん(江ヶ崎)

「チョコパン、チョコアイ
ス、ぼくはチョコレートが
だ~いすき!!」



みなぎ
源樹ちゃん(左)

平成22年11月28日生

そうたろう

蒼大郎ちゃん(右)

平成20年11月24日生

両親=平野大樹さん

千夏さん(江ヶ崎)



「ぼくたちお散歩だいすき
♡ 仲よし兄弟で~す!!」

“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。

対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課、各支所にあります。

くらしのカレンダー

4日(日)	人権週間(～10日(土)) スターライトファンタジー(～24日(土)) 海上公民館前広場)
10日(土)	冬の交通安全運動(～31日(土))
11日(日)	第7回あさひ寄席(午後2時～ 東総文化会館)
18日(日)	第7回旭市民駅伝大会(午前8時20分～ 東総運動場)
23日(金)	天皇誕生日
28日(水)	市役所仕事納め